

畑野小 だより

令和4年2月号

めざす
児童像

「は」 (はきはき話し、あいさつする子)
「た」 (たのしく遊び、勉強する子)
「の」 (のびのび元気に、がんばる子)

マスコットキャラクター



<はたのちゃん>

厳しい冬に耐えて 暖かい春を

校長 西村 雅司

3学期がスタートし、早くも1か月が過ぎました。2月は「にげる」3月は「さる」という言葉があるように2・3月はあっという間に過ぎていきます。卒業式・修了式までの授業日数も40日をきりました。

自然界においては、昨年以上の厳しい冬を迎えています。多くの生物がこの厳しい寒さを耐えることで、来たるべき新しい季節に命の輝きを放ちます。

コロナ禍ではありますが、今できることを考え、子どもたち一人一人にとって、次のステップに向けて、克服すべき課題としっかり向き合い、力を蓄える2月となるよう教育活動を進めていきます。

京都府、亀岡市に新型コロナウイルス感染者が増加している中ではありましたが、児童数や参観者数を考慮し、1月20日(木)に授業参観を実施しました。

当日は午前中の早い時間にもかかわらず、多くの方の参観がありました。体温測定等の健康観察や、三密に配慮した参観に御協力いただきありがとうございました。

とんど大会

1月8日(土)、運動場で畑野町地域学校協働本部の主催で「とんど」が行われました。

昨年度は、

新型コロナウイルス感染症予防のため開催されませんでしたが、今年は例年行われていた「もちつき」は実施せずに「とんど」のみ実施されました。

当日は地域の方や子どもたちが、正月飾りや書き初めを持参して、無病息災や字が上手になることを願いながら燃やしました。

